

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
藤原 政嘉			
木2、木3			
添付ファイル			

科目の概要	傷病者を対象とした栄養マネジメントを適切・効果的に実践できるように学習し、特に臨床栄養学 I では、臨床栄養学の基礎となる栄養管理およびマネジメントに必要な事項について学ぶ		
授業の内容	第 1 回	臨床栄養とは① 栄養アセスメント①	
	第 2 回	臨床栄養とは② 栄養アセスメント②	
	第 3 回	臨床栄養とは③ 栄養補給方法	
	第 4 回	栄養管理計画① 栄養ケアマネジメント①	
	第 5 回	栄養管理計画② 栄養ケアマネジメント②	
	第 6 回	栄養管理計画③ 栄養ケアマネジメント③	
	第 7 回	栄養管理計画④ 栄養ケアマネジメント④	
	第 8 回	栄養評価① 栄養評価の意義	
	第 9 回	栄養評価② 栄養評価の方法①	
	第 10 回	栄養評価③ 栄養評価の方法②	
	第 11 回	人体への栄養補給① 身体の構成物質と代謝	
	第 12 回	人体への栄養補給② 身体の仕組みと消化吸収	
	第 13 回	人体への栄養補給③ 食品の機能 栄養素材の機能（保健機能食品＝特定保健健用食品・栄養機能食品、サプリメント・特別用途食品など）	
	第 14 回	人体への栄養補給④ 医薬品と栄養・食物の相互作用	
	第 15 回	人体への栄養補給⑤ 治療食の種類と特徴	
		定期試験	
学習到達目標	臨床における管理栄養士が傷病者に適切な栄養管理を担当するために必要な知識（病態の把握とそれに対応する栄養計画）と技術（栄養処方）を修得することを目標とする。		
授業の方法	講義		
成績評価の方法	小テスト 5%、授業中の質問・応答 10%、定期試験 85%		
教科書・テキスト	三訂臨床栄養管理「第3版」/渡邊早苗他/建帛社、プリント		
参考書	：臨床栄養管学/柴田茂男他/建帛社 ：実践臨床栄養学・実習/熊代千鶴恵・藤原政嘉他/建帛社 ：雑誌・臨床栄養（月刊/医歯薬出版）		
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	種々の疾患について最新治療法や薬剤、保健機能食品について関心を持つ。		
履修上の留意事項	臨床栄養学は解剖生理学・病態生理学・生化学・食品学に家政学（調理学）およびカウンセリング論などを集めた教科であることから、1年次、2年次で学修した関連教科を十分に復習しておけば難しい教科ではない。		

オフィスアワー	疑問や意見、質問があれば研究室を訪問してください（木曜日の4時限目）
担当教員への連絡方法	直接研究室を訪問してください。
その他	